

3年生学年だよ！

令和3（2021）年7月16日
第20号
吹田市立第二中学校 第三学年

平和学習～平和とはなんだろう～

先日、7月15日に平和学習を行いました。

これまでの学習で、広島や長崎に原子爆弾が投下された事や、日本の首都である東京が空襲によって焼野原になった事は勉強してきました。今回の平和学習では、今皆さんが住んでいる大阪はどういう状況だったのかをスライドやインタビュー映像とともに勉強しましたね。皆さんが暮らしている吹田市にも爆弾が落とされたという事実や、吹田駅前の平和モニュメントについてなど、戦争はどこか遠いところの昔話ではなく、自分たちの「今」とつながっているのだと感じられたのではないのでしょうか。平和とはなにか、今を生きている自分たちに何ができるのか、など真剣に考え、向き合っている姿がとても印象的でした。

戦争を体験した人の話を聞いて、自分が感じたこと

☆その時体験した人しか分からないことがあって、伝えようとしても体験しないと分からないけれど、必死に伝えようとしてくれているのが分かった。自分の母親が胴体だけしかないとか、考えたらすごく辛かったやろうなって思った。

☆戦争を体験した人にしか分からないこともあるかもしれないけれど、私たちが戦争があったことを知らずに生きていってはいけないと思った。多くの人が亡くなった戦争ということを忘れてはならないと思った。

☆戦争を経験した人が少なくなってきた、色々な活動をしているのを見て、自分もそういう活動に参加して平和についてきちんと考えないと、と思った。これまではただ伝えればいいと思ってたけど、やっぱり体験したことの全ては伝わりにくいってことが分かった。

☆戦争で亡くなった人たちの名前を名簿に残して、生きた証を作っておくことは良いことだし、戦争のひどさを伝えることはその人にしか分からなくて、とても難しいことなんだと思った。それでも生きている間、伝えようとしていることにすごいと思った。

☆約70年前のことなのに、最近あったことのように詳しく話していて、空襲はとても衝撃的なことだと思った。

☆聞いているだけでもつらいのに、実際にそこにいたつらさは想像できない。実際に戦争にあった人が減っている中で、次は自分たちが伝えなければいけないなと思った。

平和学習を通しての感想

☆戦争を体験したことのない私たちができることは少ないけれど、戦跡を残していくこと、二度と戦争をしない、戦争はおかしいと思える世の中に変えていくことが大切だと思った。

☆私達がリアルに戦争の恐ろしさ、苦しさを後世に残すことは難しいけれど、当たり前を当たり前と思わず、毎日、自分が幸せと感じながら、今後の生き方、あり方を変える。

☆人の命の大切さを改めて感じた。壊れたものをそのまま残すことによって、本当に戦争があったことの根拠になると思う。

☆平和は大切だとか戦争はダメだとかいうのは大前提の話で、こういった昔の悲惨な体験はどうしたら風化させずに語り継がれ伝えていけるのだろうかと思った。経験していない私たちが平和を維持していかなければならないと思った。

☆戦争はもう二度とあってはならないと思った。未だに名前が分かっていない人もいて、その人の家族はすごく悲しくて、悔しいと思う。

☆今まで、沖縄戦とか広島原爆の話は何回も聞いたけれど、大阪とか身近に起こったことのほうが知らないことが多かったので、これからまた知識をつけたい。平和を実現するためにできることはたくさんあるので日々意識していきたい。

☆実際に経験した人がどのように後の世代の人に語り継いでいくのかはとても難しい問題だと思いました。目の前で家族を失ったり、必死で空襲を逃れようとしたりした人の気持ちを忘れることは今後あってはいけないなと思った。

☆言葉で、「平和」というのは簡単だけど、本当の平和は1人ひとりが互いを思いやり、作っていくんだと思う。二度と戦争など、争い事が起こらないよう、知って、考えて、後世へと伝えていくことが大切だと思った。